

★0・1・2歳児の遊び★

0歳前半:動きがあまりないこの時期の乳児には、触れ合いをたくさんしてあげます。

- ・ 畳の上で平面遊びをします。体をたくさん動かせるので広い場所でゴロゴロ動けるようにしています。生まれたての2ヶ月くらいは平らな平面になじんでクルリクルリと左右を自由に向いて遊んでいます。
- ・ 音が鳴る玩具をカチャカチャと振ると音のする方を見て、渡されるとまだ手ではうまく握れずに離してしまいます。玩具を口にいれたりしてなめています。
- ・ 歌をうたいながら、マッサージしてあげると手足をバタバタさせ「ウー」などと声を出しています。(特に体に力が入る場合はマッサージをこまめにしています。)
- ・ うつぶせにし、泣いたらあおむけにしたりして、一緒に寝転がって遊んだりします。
- ・ 遊びの抱きあげをします。横抱っこを嫌がり3ヶ月位からは縦抱っこを好んできます。抱き上げては降ろし、降ろしては抱き上げてもらい縦の感覚を体で感じます。

0歳後半:この時期には、ハツとしてはホツとする出会い体験をします。

- ・ 保育者が手で顔を隠して「バァー」と言うと嬉しそうに笑います。だんだんと続けていくうちに真似して「バァー」とします。
- ・ いたずらが始まります。例えばトイレへ行きトイレットペーパーをどんどん出しているときに静かに近づいていき、夢中になってやり終える前のギリギリの時に「ワッ!」と驚かすと「ビクッ」と驚きます。
- ・ ハイハイからつかまり立ちして遊ぶようになります。ハイハイを十分にしないと情緒的にも弱い子になるのでつかまり立ちしている場所から離れさせてたくさんハイハイして遊ばせます。
- ・ 洋服のボックスから洋服を引っ張り出して遊びます。
- ・ 欲しい玩具があるとハイハイしてとりに行き、手に持ち遊びます。遊んでいる玩具を取られると泣きます。
- ・ 「一本橋ーちょこちょ♪」とくすぐると笑い、また何度も近づいてきてはやってもらいたがります。

1歳児:遊びながら言葉を理解していきます

- ・ 鼻をかんだティッシュを渡し、「ゴミポイしておいで」と言うとゴミ箱に捨てに行きます。
- ・ 「お片づけするよー」と声をかけると進んで片づけをし、「ありがとう」と言われると喜びます。
- ・ 玩具箱を押して遊んだり、その箱に入って遊び、「出てちょうだい」と言うと出ます。
- ・ プランコにのって遊び、歌を歌い終わり「代わってちょうだい」と言うと代わってくれます。
- ・ 体をくすぐられるのを喜び、何度も近づいてきてはくすぐられて後ずさりして逃げます。
- ・ やわらかい積み木を重ねると喜んで倒し、何度か続けます。「まだだよ」と言うと待っていられます。

2歳児:見立て遊びをします

- ・ おんぶひもを持ってきて「おんぶする。」と言い、おんぶひもをつけてもらって喜びます。
- ・ 型はめをして遊びます。いろいろな形をいろいろな形の穴に入れようと探して入れて遊びます。
- ・ 食べ物があるように見立てて、「おにぎり」や「うめぼし」など持ってきては食べさせてくれます。「おいしい?」などと聞いたりして何度も繰り返します。



☆年齢ごとに見られる遊びと関わり☆

〈0歳前半〉

母親とソフトにギュッと触れ合うこと(抱っこ・笑いかけ・あやし・ゆすり・声かけなど)を通して、心と身体の発達が順調に進んでいきます。



〈0歳後半〉

この時期ははいはいないばあ・かくれんぼ・高い高い・鬼ごっこなどをして、たくさんあやし、笑わせてあげることで、ハッとさせてはホッとさせて出会う体験をし、喜びが豊かになって手が出てきます。(あやされて笑い、子どもの笑顔によって大人も喜び合い、その交流が遊びの第一歩となります)



〈1歳〉

簡単な言葉の理解ができるようになり、「ちょうだい」・「どうぞ」のように、物を通してのやりとりができるようになります。また、「ごみポイしてきてね」と言われてごみを捨てに行ったり、大人と一緒にならばお片付けができるようになります。



〈2歳〉

同年齢の子どもたちがいると、関心を持ってその近くへ入っていくが、まだ子ども達だけではうまく遊べません。そのため、大人や年長児が加わってリードすると、子ども同士でも遊べるようになります。そのうちに子ども同士の連携が始まり、集団化が進んでいき、ごっこ遊びにつながります。

※これまでの時期は、大人との関わりが遊びの一部です。この関わりが十分にうまくいっていると、子どもは豊かに育っていき、集団で育ちあう土台ができあがるのです。

〈3・4歳〉

子ども自身が他の子どもに働きかけ、一緒に遊ぶようになります。子ども同士でおもちゃや道具を使い合ったり、話し合って役割や遊び方を決めたりもできます。(ままごと・お店やさんごっこ・乗り物ごっこなど…)

しかし、時には自分の欲求が優先し、けんかになったり、仲間に入れない子も出てくるので、まだ大人の援助が必要です。

〈5歳〉

表現力・対話力も進み、仲間と共に育ちます。大人の援助をほとんど必要とせず、幼い者や弱い者に配慮も含めた遊びのルールを自分たちで決め、仲間同士で協力して遊びます。また、様々な材料や用具を適切に使えるようになります。